

## 第45回学長選考会議議事概要

日時 平成30年10月18日(木) 15時00分～16時15分  
場所 本部棟 特別会議室  
出席者 國澤(議長), 上村, 川本, 中村(健), 林, 矢部, 村井, 青木, 中村(裕),  
新田, 森本, 堀, 中村(慎), 向, 福森  
欠席者 中西  
オブザーバー 村本, 石原

### 1. 議事

#### (1) 平成31年度実施予定の学長選考に係る検討事項について

事務局から、資料に基づき、平成31年度に実施を予定している学長選考について、今後の検討スケジュール及び検討に係る論点について説明があった。種々の意見交換の結果、所信等説明会・意向聴取・学長候補者との面談を実施することが承認され、実施に係る詳細については継続審議となった。

なお、次回審議の進行を効率的に行うため、各委員は継続審議となった事項について予め議長に意見を提出し、次回会議開催までに当該意見を取りまとめたものを委員全員に送付することとなった。

#### (主な意見)

- ・意向聴取は、実施した方がよい。
- ・意向聴取を投票のような形で行うことは、票数が数字で残ってしまうので問題がある。
- ・構成員の意向は聴くべきだが、投票のような形で聴いてしまうとその結果と選考会議の選考結果が異なった場合に、学内に不満が残ってしまうのはよくない。
- ・意向投票の結果を参考にしながら、最終的には選考会議が高い見識で選考を行えばよいのではないか。
- ・再任審査の意向聴取のように、各区分の代表に意見を聞く方法がよい。代表は所属区分の意見をとりまとめて意向聴取の場で話せばよい。
- ・再任審査の場合は現学長に対する意向聴取だったが、今回は全く新しい候補者に対するものになるので、再任審査時と同様の方法では合わないのではないか。
- ・教育研究評議会は、新規の選考時及び2回目の再任時には意向投票を行ってほしい旨の意見を本会議に提出しているので、その意見は尊重いただきたい。
- ・投票は部局の力関係が現れるものであり、投票をすれば部局間に溝ができる。できる限り話し合いで決めるべきである。

#### (2) その他

次回の開催については、12月及び1月の土日も含めたスケジュールで日程調整することとなった。

以上